平成28年度

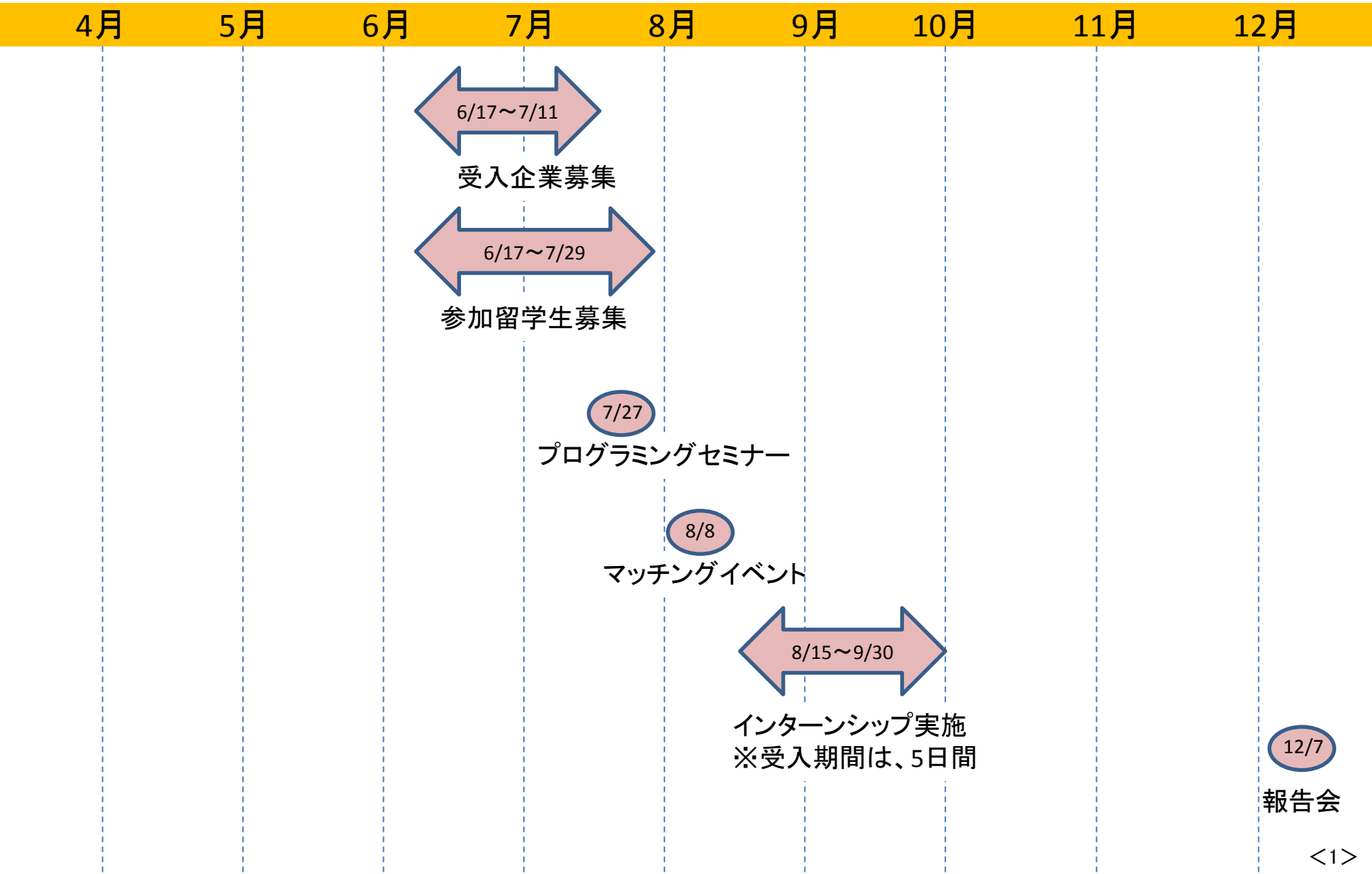
留学生インターンシップ in GIFU 成果報告会

―結果報告―

平成28年12月7日(水)

岐阜県　国際課
留学生インターンシップ in GIFU 事務局

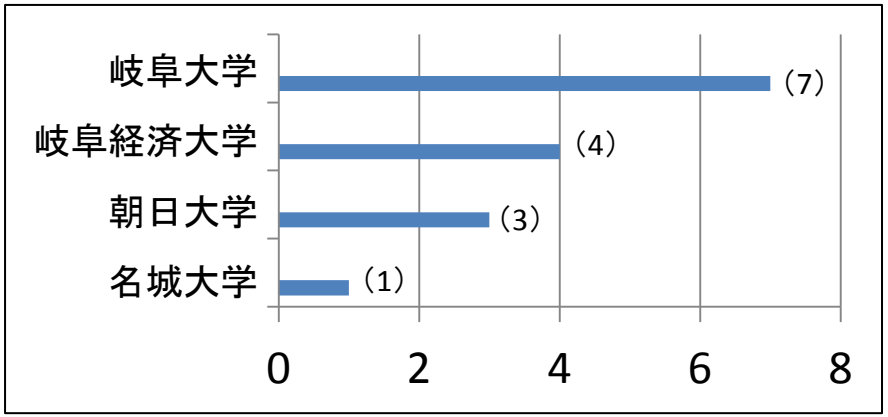
【全体スケジュール】


4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
6/17～7/11
受入企業募集
6/17～7/29
参加留学生募集
7/27
プログラミングセミナー
8/8
マッチングイベント
8/15～9/30
インターンシップ実施
※受入期間は、5日間
12/7
報告会

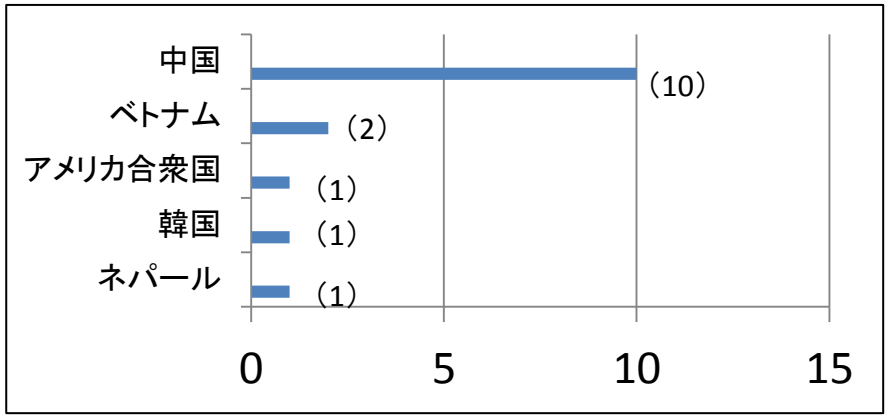
【参加留学生について】

■参加留学生の概要

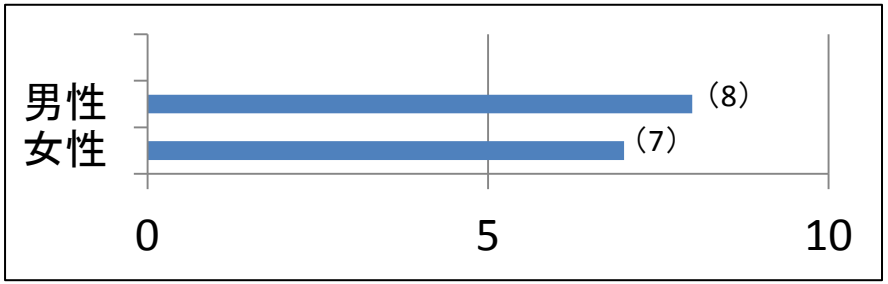
①所属大学



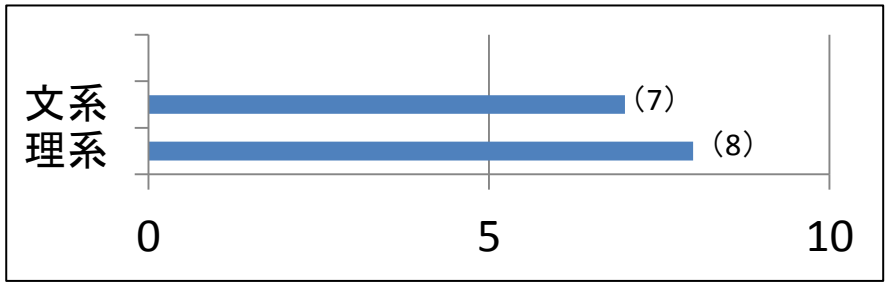
②国籍別



③性別



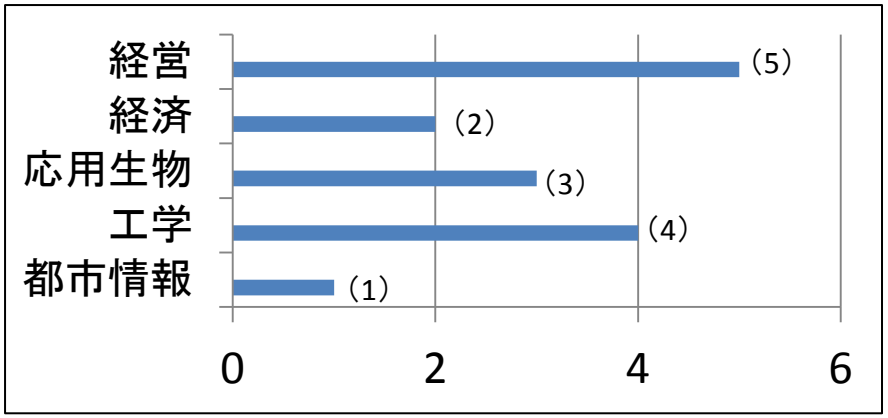
④文理別



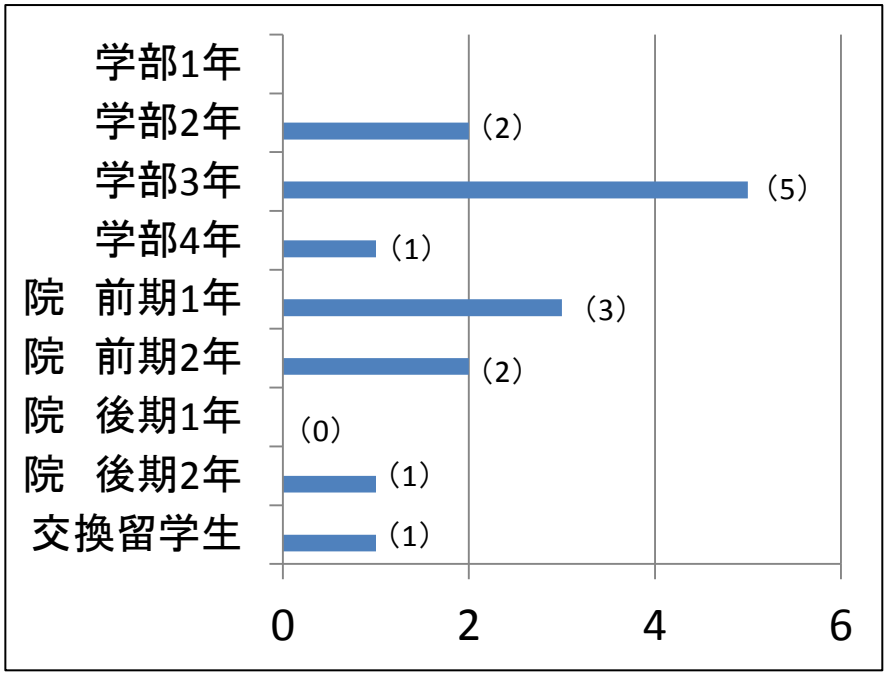
【参加留学生について】

■参加留学生の概要

⑤所属学部・専攻



⑥学年



⑦日本語能力

	人数
日本語能力試験N1級	4
日本語能力試験N2級	7
その他	1
無回答	3

※その他：資格取得はないが、日本人学生と同じ講義を
履修できる日本語能力レベル

【参加留学生について】

■日本での就職希望・インターンシップ参加目的・希望業種等

①日本での就職希望

	人数
希望している	15
希望していない	0
未定	0

②（日本で就職するとしたら）希望する就業エリア（選択式※複数回答可）

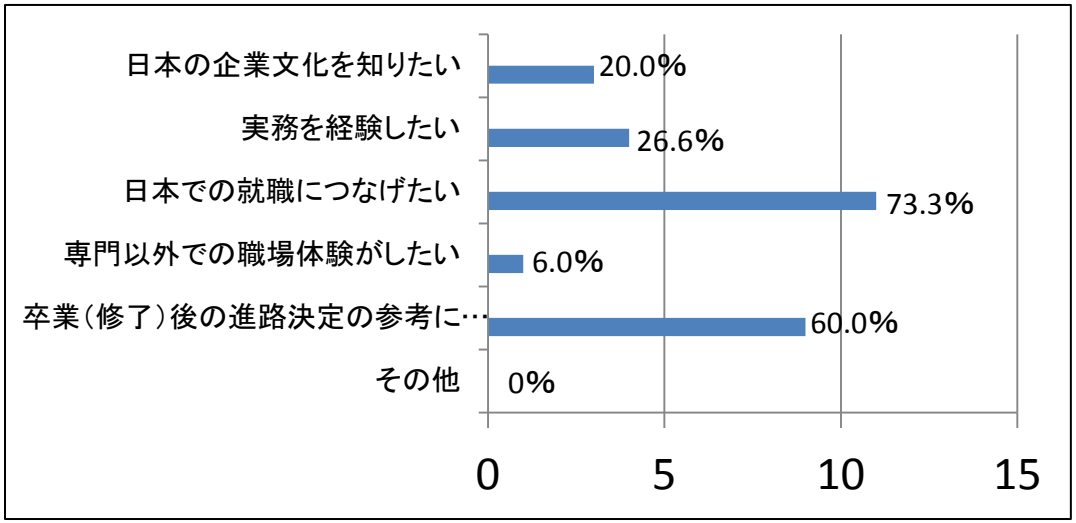
	人数
岐阜県内	9
近隣エリア（愛知県/名古屋市・三重県）	7
都市部エリア（東京・大阪）	6
上記以外のエリア	0
特に希望のエリアはない	2
無回答	2

【参加留学生について】

③インターンシップへの参加目的（選択式※最大2つまで回答）

	人数
日本の企業文化を知りたい	3
実務を経験したい	4
日本での就職につなげたい	11
専門以外での職場体験がしたい	1
卒業（修了）後の進路決定の参考にしたい	9
その他	0

※留学生15名に対する割合

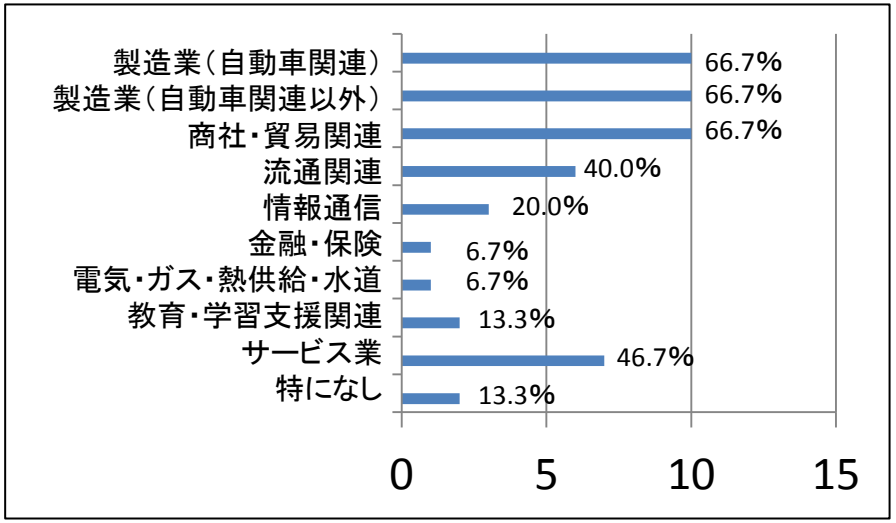


【参加留学生について】

④インターンシップで希望する業種
（選択式※複数回答可）

	人数		人数
製造業（自動車関連）	10	金融・保険	1
製造業（自動車関連以外）	10	電気・ガス・熱供給・水道	1
商社・貿易関連	10	教育・学習支援関連	2
流通関連（卸・小売業・運輸業）	6	サービス業（旅行・宿泊・その他）	7
情報通信	3	その他	0
建築関連（建築工事・設計・測量等）	0	特になし	2

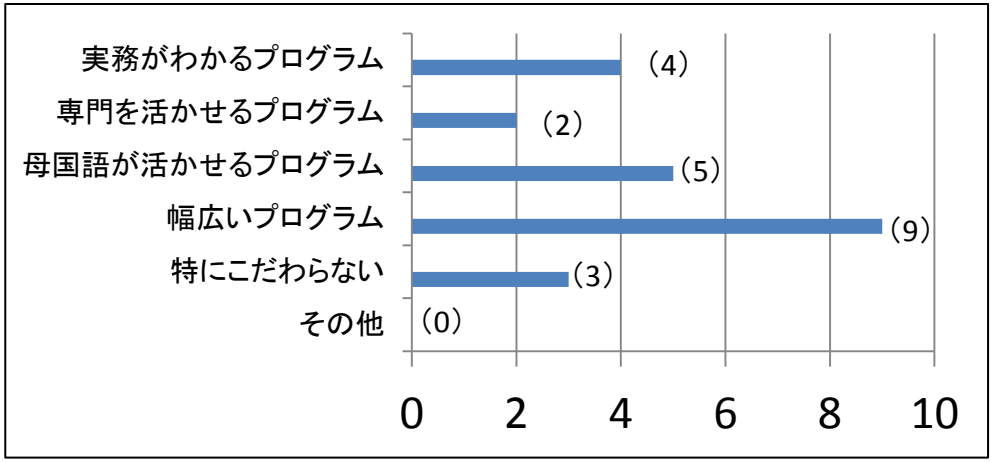
※留学生15名に対する割合



【参加留学生について】

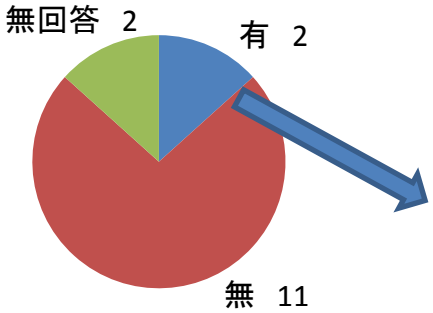
⑤希望するプログラム
（選択式※複数回答可）

	人数
実務がわかるプログラム	4
専門を活かせるプログラム	2
母国語が活かせるプログラム	5
幅広いプログラム	9
特にこだわらない	3
その他	0



⑥インターンシップの参加経験の有無（母国含む）　→「有」と回答された方のうち、日本企業でのインターンシップ経験

	人数
有	2
無	11
無回答	2



	人数
有	2
無	0

【受入企業について】

■受入企業の概要

①業種（メイン業種）

	企業数
製造業	8
サービス業	2
商社	1
建築（建設）・土木関連	1

②本社所在地

	企業数
岐阜市	2
岐南町	2
大垣市	2
大野町	1
関ヶ原町	1
各務原市	1
関市	2
多治見市	1

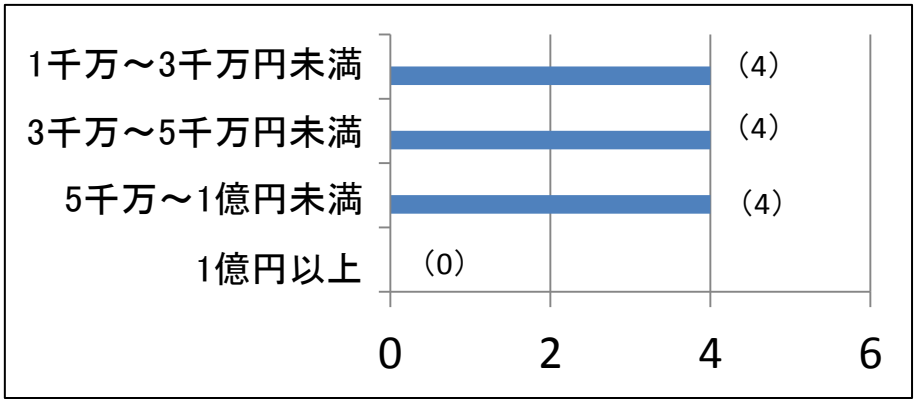
③インターシップ実施場所

	企業数
岐阜市	2
岐南町	2
大垣市	1
大野町	1
垂井町	1
関ヶ原町	1
各務原市	1
関市	2
多治見市	1

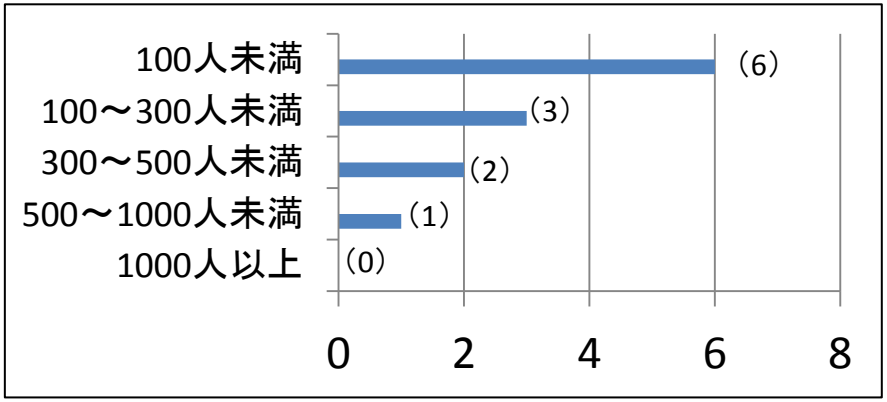
多くの学生がマイカーを所持していないため、
インターンシップ実習先までの移動手段が
課題になるケースも。
一方、送迎への援助をする企業もあり。

【受入企業について】

④資本金



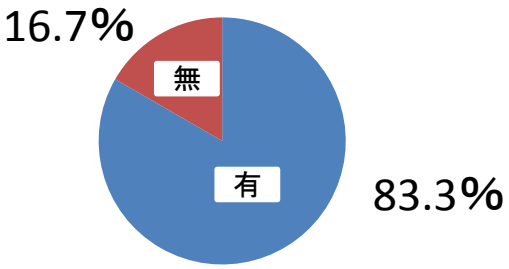
⑤従業員数



【受入企業について】

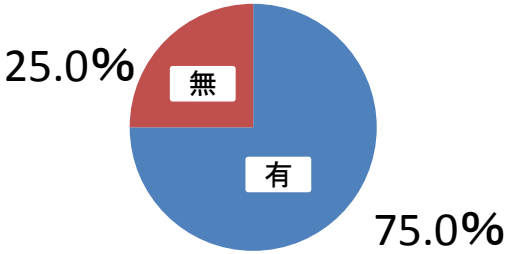
⑥海外取引の有無

	企業数
有	10
無	2



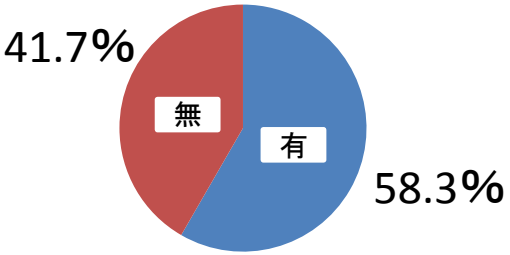
⑦海外拠点・海外現地法人・関連工場等の有無

	企業数
有	9
無	3



⑧外国人留学生の採用実績

	企業数
有	7
無	5



【受入企業について】

⑨インターンシップの
受入れ実績の有無（日本人含む）

	企業数
有	12
無	0

※「有」のうち外国人留学生の
受入実績の有無

	企業数
有	2
無	10

⑩参画された目的・理由（選択式※複数回答可）

	企業数
将来の留学生採用に向けた参考とするため	11
社会貢献の一環として	4
留学生に自社を知ってもらうため	5
留学生との交流による　社員の意識の向上を期待して	2
将来的な外国人雇用への　社内環境整備の準備として	4
今後の留学生インターンシップ受入れのための試行的な意味で	5

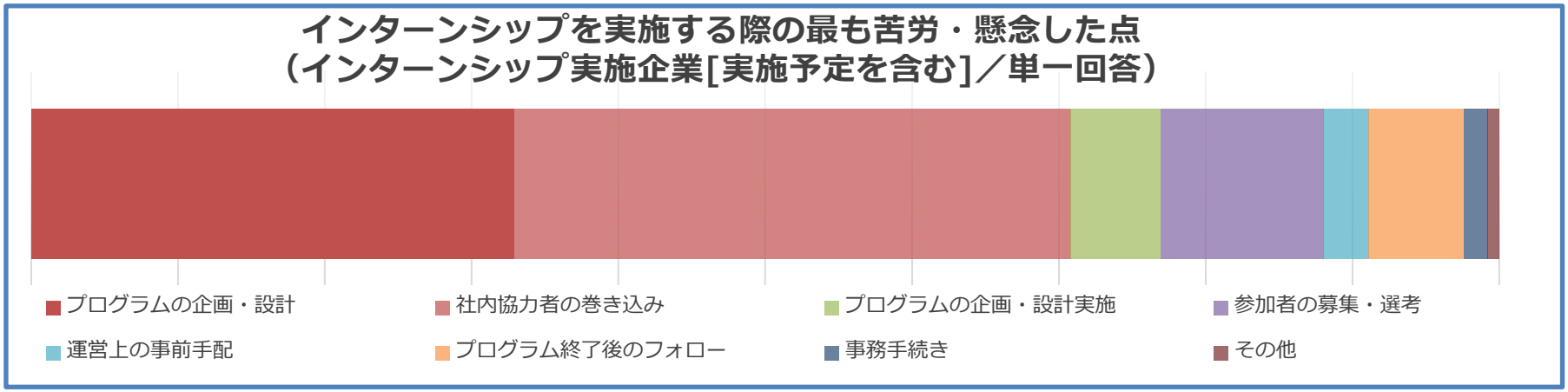
【インターンシップ　プログラミングセミナー】

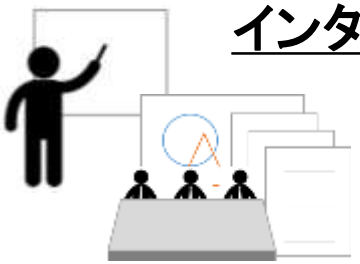
■プログラミングセミナー概要

・開催日時　　7月27日(水)　14:00～16:30
・開催場所　　じゅうろくプラザ　4階 研修室2
・参加企業数　　留学生インターンシップ in GIFUに参画予定のうちの10社12名

■開催目的

インターンシップの導入に当たり、
多くの企業が最も苦労・懸念するのは「プログラム設計」。
このプログラム設計のサポートとしてセミナーを開催。





インターンシッププログラミングセミナーによるプログラミング作成支援

最大の壁である「自社プログラム」の設計について、
実際にプログラムを作成するセミナーを実施し、参加企業を支援。

～セミナー内容～

●インターンシッププログラムを組む上で大切なポイントのレクチャー
▼
●モデルスケジュール・フレームのご提供
▼
●プログラミング実践（グループワーク） など

企業同士でグループをつくり、
自社のインターンシッププログラム案をお互いに発表し合う。
他社のプログラムを聞いたり、自社のプログラムに意見を言ってもらい、
議論することで、よりブラッシュアップしたプログラムの設計へとつなげる

■参加企業様の声 （アンケート結果より）

・事前にアドバイスをもらえたのは良かった。 ・プログラムのイメージができた。
・他社の意見を聞く事により、考えていなかったアイデアが浮かんだ。

【マッチングイベント】

■マッチングイベント概要

・開催日時　8月8日(月)　12:00～17:00
・開催場所　岐阜市文化センター　3階　展示室
・参加留学生数　15名
・参加企業数　　13社

■開催目的

留学生　×　企業　のマッチング創出を少しでも増やすため

企業は、会社のPR・インターンシッププログラムの説明を、留学生は、質問や自己PRを実施。
相互理解を深めることで、留学生が 社名や業種、規模だけではなく、
社風まで含めた志望度を上げられる仕組みを創出し、
1組でも多いマッチングに繋げるための会として開催。

企業理解 → 相互理解 → 希望マッチング

～イベント内容～

●企業および留学生の面談による、相互理解促進・相互質疑応答

▼

●参加希望／受入れ希望の各用紙回収後、事務局によるマッチング作業

▼

●留学生に対するマナーセミナー（次頁にてご説明）

マッチング率向上のためのポイント・・・

＜全留学生、全企業の相互理解＞
全企業が個別ブースに分かれ、留学生は1人ずつ（もしくは2人1組で）、全てのブースに訪問。企業も全ての留学生に企業PR、インターンシップ内容を説明した点。

＜マッチング方法＞
留学生／希望上位企業に加え、
少しでも関心のある企業には、全てマッチング対象としてもらった点
企業／少しでも関心のある留学生には、全て受入れ希望としてもらった点

～結果～

15マッチングの創出　（受入れ企業12社　留学生15人）

【インターンシップで役立つマナーセミナー】

マッチングイベント参加留学生に対し、
インターンシップ受入れ先で役立つ内容となる「マナーセミナー」を開催。
講座内容は下記の通り。

～セミナー内容～

●「印象」について
「見た目・表情・しぐさ」（視覚情報）、「声・話し方」（聴覚情報）、「話の内容」（言語情報）

●「ほう　れん　そう」について
「報告」、「連絡」、「相談」

●インターンシップ中に気をつけること
「あいさつ」、「ルール」など

●ビジネス度チェック
「敬語」、「NG言動」など　ロールプレイング

●他、ビジネスマナーにおける参考資料の提供

■参加留学生の声　（アンケート結果より）
・大学で学んでいないこともあり、とても良かった。
・日本の文化を理解する良い勉強になった。　・たくさん知らないマナーを学べた。
・講座だけでなく、実際にチェックしてくれるのが良かった。

【インターンシップ期間中のサポート体制】

●受入れ企業1社1社に、事務局の担当スタッフがサポート
・インターンシップ受入れ中盤日程（3日目～4日目）での訪問。
状況の確認および、問題点の有無の確認。
・必要に応じて、受入れ初日に訪問し、段取調整、実施アドバイス、
成果報告書資料作成の補足（記録の取り方、写真についてなど）を行う。
その他の日程に関しても、必要であれば訪問しフォローする。
・同時に参加留学生へも声掛けを行い、問題や不安に対するケアを行う。

●留学生に対する相談窓口の開設
・インターンシップに関する困りごと、不安を受け付ける窓口を開設。
いつでも電話またはメールができる体制に。
（※結果的には、トラブル等は発生せず、窓口への連絡はなかった。）

【保険の加入】

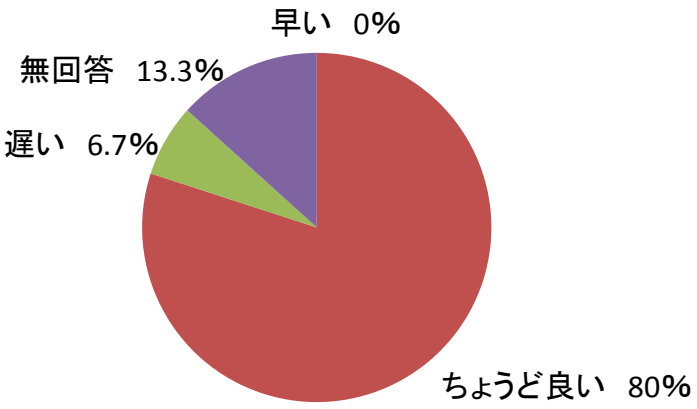
万が一に備え、インターンシップ期間中は、事務局側で保険に加入。
もしもの際も安心して受入れが可能。

留学生インターンシップ in GIFU
結果報告
（参加者アンケート集計結果より）

【インターンシップ実施時期について】

■インターンシップ実施時期（8月中旬～9月末の実施）について（回答者：**参加留学生**）

	人数
早い	0
ちょうどいい	12
遅い	1
無回答	2



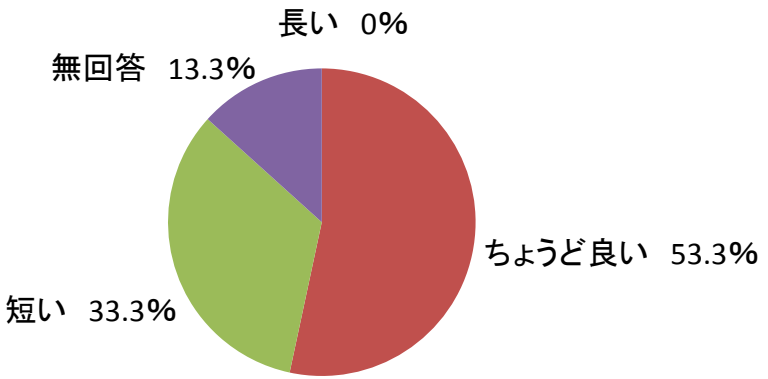
※「早い」・「遅い」の場合、いつの時期なら良いか

・8月中に終わるスケジュールで行なって欲しい

【インターンシップ実施期間の長さについて】

■参加留学生

	人数
5日間では長い	0
5日間がちょうど良い	8
5日間では短い	5
無回答	2

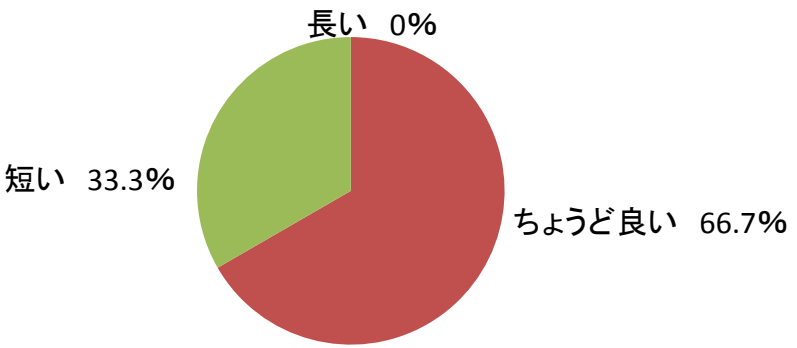


※「長い」・「短い」の場合、どれくらいの期間なら良いか

・外国のインターンシップ期間と比べ非常に短い。専門知識を学ぶにはもっと長い時間が必要。
・まだまだ学べることを残したと思った。　・10日間ほどあると良い。　・半月ぐらいが良い。
・もっと多くの経験をするため、長期インターンシップがやりたい。

■受入れ企業

	企業数
5日間では長い	0
5日間がちょうど良い	8
5日間では短い	4



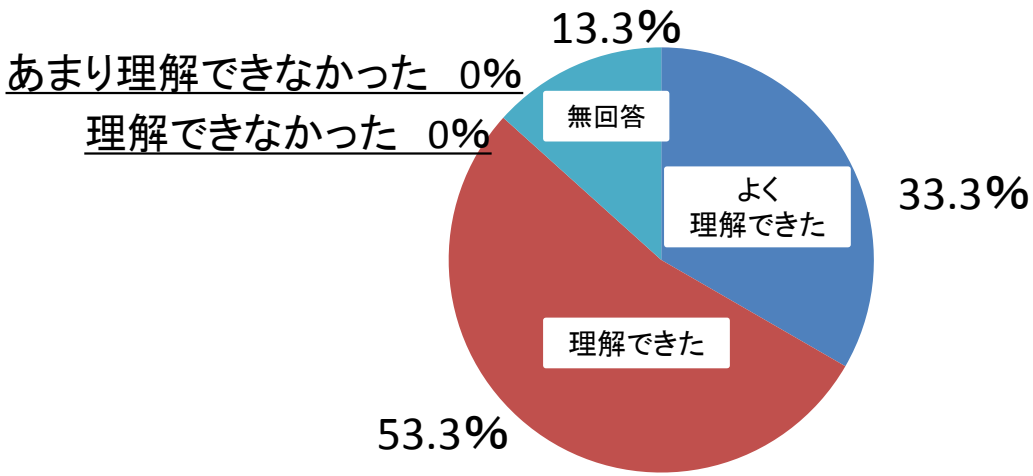
※「長い」・「短い」の場合、どれくらいの期間なら良いか

・短い。体験で終了してしまう。　・報告書の作成で1日以上取られる。
日本人学生の場合でも10日の受入が多い。
・2週間（10日間）程度。　・2週間～1ヶ月程度。

【実習内容の理解度と企業への興味の変化】

■インターンシップでの研修（実習）理解度（回答者：**参加留学生**）

	人数
良く理解できた	5
理解できた	8
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	2



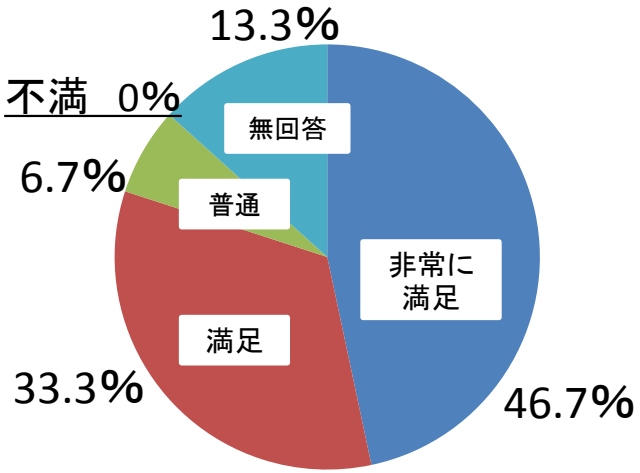
■受入れ企業に対する興味の変化（回答者：**参加留学生**）

	人数
企業への関心（興味）が高まった	6
就職先として非常に興味を持った	5
変化はない	0
無回答	2
企業の業務内容はよく解ったが、興味はわかなかった	1
マイナスのイメージが強くなった	0
その他	1

【「留学生インターンシップ in GIFU」の満足度】

■ **参加留学生**の「留学生インターンシップ in GIFU」の満足度

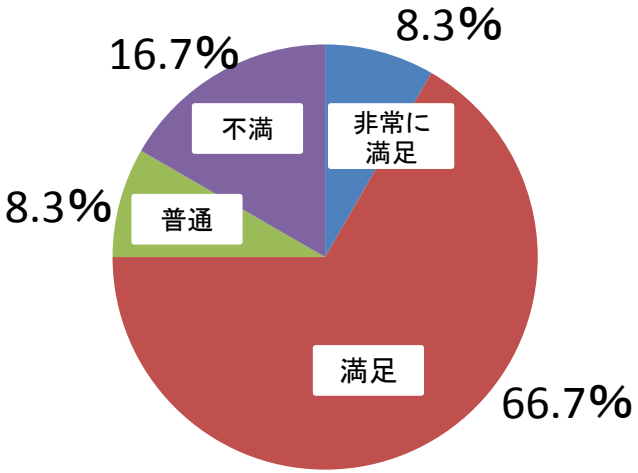
	人数
非常に満足した	7
満足した	5
普通	1
不満	0
無回答	2



【「留学生インターンシップ in GIFU」の満足度】

■**受入れ企業**の「留学生インターンシップ in GIFU」の満足度

	企業数
非常に満足した	1
満足した	8
普通	1
不満	2



※上記回答の理由

＜満足＞

・良い学生に恵まれた。
・取り組み姿勢が良い。
・優秀。
・留学生が非常に積極的であった。
・日本人に比べ、より想いが真剣であるように感じた。
・海外拠点のある国から受け入れることができた。

＜不満＞

・今後につながる感じではなかったから。
・日本人のインターンシップの方が、
大学のキャリアセンター等が窓口となり、
事前連絡や書類のやり取りがスムーズに行える。

【「留学生インターンシップ in GIFU」の満足度】

■本事業を、後輩や他の留学生にもすすめたいか？（回答者：**参加留学生**）

	人数
すすめたい	11
すすめたくない	0
どちらともいえない	2
無回答	2

■次年度以降も、同様の事業に参加したいか？（回答者：**受入れ企業**）

	人数
参加したい	6
参加したくない	0
未定	6

【留学生の「身に付いたこと」「勉強になったこと」「学んだこと」「気付き」「成長」について】

■アンケート結果より

**・インターンシップ参加前は、日本人との働き方や、自分に適した業界等について
あまり分からなかった。参加することで、将来の就活に役に立つことがたくさん得られた。**

**・専門知識はもちろん、コミュニケーション能力も非常に必要だと実感した。これからの就活が
始まる前に、年齢や職業に関わらず、たくさんの日本人に話し掛けようと思った。**

**・大学で学んだことをインターンシップで活かすことができ、
またこのインターンシップで学んだことをこれからの就職活動に役立てることができると思う。**

**・まずは社会人としてのマナーを身につけることができた。
また、会社を決める時は、お互いの気持ちによってマッチすることが大事だと気付いた。**

・専攻とは全く関係ない分野の知識を勉強した。生産管理部門、マーケティング部門、海外営業部門が
どのようなことをしている部署なのか、おおよそ知ることができた。

・重工業と加工技術の力を感じた。そして電気制御に関して勉強する良い機会となった。

・物流センターの見学を通して、どのような流れで商品が消費者の手に届くのかわかるようになった。

・指示されたタスクに対する好奇心と自立心を高めることができた。

・自分には考え抜く力が足りないことを実感した。

【留学生のインターン参加後の感想】

■アンケート結果より

・将来の進路を選択する貴重な体験ができた。

・社会人になるため、大切な経験ができたと思う。傾聴力・柔軟性・ストレスコントロールなどが習得できた。自分の足りない部分もわかり、足りない部分を補足する為に頑張ろうと思えた。

・卒業後、日本で設計の仕事がしたいと考えている。CADの設計実習で、日本の製図の標準や習慣が勉強できたことは、今後の就職時にとても役に立つと思う。

・3つの職種に触れることができ、社長や社員の方々からいろいろな考え方を聞き、自分の視野を広げることができた。

・一番驚いたことは、初日に会社に入った瞬間の、社員さん達のあたたかい挨拶。2DCADの基礎知識を身につけることもでき非常に感謝している。この体験を通じて就職に対する意欲と志はさらに高まった。

・自分の成長を実感した。自分が普段気付いていない、自分の足りないところやダメなところも見つけることができた。そして卒業後に入りたい会社はどのような会社なのかを改めて確かめることができた。やはり、あたたかくて、社員でもパートでも大切にしている会社が好きだということを改めて思った。

・「バイトと就職後の仕事は違う」という意味が理解できた。お金のためだけに働くのではなく、自分の仕事に責任を持ち、価値があるものにしないといけないことが分かった。

・社会に出て働く事、お金を稼ぐことが本当に大変だということを改めて認識した。仕事にはやりがいが無ければ続けられないと思う。達成感などがやりがいに繋がるのだと思う。

【受入れ企業の「良かった点」「成果・効果」等について】

■アンケート結果より

・留学生の意識・意向・考えを知る上で大いに参考となった。
　日本企業に対する考え方の本音が聞けたと思う。

・幅広い価値観があることを感じ取れ、自社を見直す良い機会となった。

・自社を理解してもらえた。
　自国との比較もでき、それぞれの文化の交流の一端になったと思われる。

・留学生の出身国の習慣や文化、専門分野に関するさらなる知識を得ることができた。

・自社の仕事の楽しさが留学生に伝わったこと、
　またそれにより社員のモチベーションUPに繋がったことは良かった。

【受入れ企業の留学生に対する感想】

■アンケート結果より

・来年就職活動をする留学生だったためか、実習に対して非常に積極的だったのが良かった。

・日本語の能力が高く、コミュニケーションに苦労する事はなかった。
高いレベルかつ真摯な姿勢で取り組み、与えられた仕事を遂行する事ができていた。

・実習場所が離れていたため、毎日送迎を実施。
コミュニケーションの時間となり様々な話ができた。
設計業務に関心が強く、時間が過ぎても取り組んでいたほどであった。

・何を希望するかより、密な意見交換は必要に感じる。
もっと何を経験したいか、企業として何が提供できるのか、すり合わせは必要と感じた。

・社員とのコミュニケーションもとれていて良かった。

・日本語能力的にややコミュニケーションに手間取る場面もあった。
メモをとり、わからない言葉も理解しようとしていた。

・専攻分野ではないにも関わらず、非常にまじめで積極的であった。

【受入れ企業の実施後の感想・所感】

■アンケート結果より

・ヒューマンスキルがあり、仕事への姿勢も良く、最近入社した若手社員へ良い刺激になった。

・外国人留学生については、初めてのインターンシップ受入れだったため、受入れ側として反省点はあるが、留学生本人は単純作業から社外業務および出張まで幅広い社会経験が得られたのではないでしょうか。この経験を活かし、目的の一つである留学生採用をすることにより、海外子会社との人材交流から海外市場での販促等に繋がっていけばいいと思う。

・相互理解ができた。また、現地法人スタッフ採用方法の一つとして、留学生を本社で採用し育てる、と言う選択肢があると知れたことが良かった。

・初めて外国人を受入れるにあたり、いろいろ対策を考えたが、実際に来てもらうと、日本語も上手なうえ、一生懸命理解しようとする姿に、こちらが勝手に身構えていたことを反省した。日本人と同じ対応で良いことに驚かされた。

・留学生を受け入れることで、会社内の見直しも出来るので良かった。

・希望の分野と違ったことが留学生にとって新たな分野を覗くことになり、新たな展開が起きる可能性もあることも事実だと思う。これは日本人のインターンシップでも同じ。しかしながら留学生の場合は、日本人学生と違い、明確な目的をもって日本に来ていると思うので、できる限り本人の希望の職種を体験させてあげる方がいいと思う。

・当初の希望する国籍ではなかったが非常にまじめで前向きな学生だったため、結果としては良かった。これから就職活動と言うことで、弊社に勤めるなどは別にして、何か力になれればと心から思っている。